

【第67回日本電気泳動学会総会を終えて】

近藤 格  
第67回日本電気泳動学会  
総会事務局  
国立がん研究センター研究所  
希少がん研究分野

日本電気泳動学会の皆様

第67回日本電気泳動学会総会の開催に際しましては格別の御高配を賜り、どうもありがとうございました。お礼ともども、以下、開催報告をさせていただきます。

今年の総会は、北海道釧路市にて、平成27年8月26-27日に開催されました。総会の前後に釧路・北海道は大雨に見舞われ、住民の方々はたいへんだったようです。我々は、ちょうど悪天候の切れ間に総会を開催することができました。南は鹿児島から、そしてイギリス、トルコ、スウェーデン、中国と海外からの参加者を含め、約120名の方々に御参加いただき、盛会のうちに無事に終了しました。

一日目はあいにくの雨でしたが、各地からぞくぞくと参加者が集まってこられ、盛況な滑りだしでした。午前中は大会場でシンポジウムが開催されました。海外から講演者を迎えて国際色のある講演会でした。午後から二つの会場に分かれました。シンポジウム、一般講演、ポスター発表、展示会と、なかなかの賑わいでした。

夜の懇親会では、釧路地方の名産に舌鼓を打ちつつ、地元デュオ・ヒートボイスの方々の演奏を堪能しました。参加者全員で、「マリモ～、マリモ～、電気泳動もりあげよう～」と踊りながら合唱しました。有志による二次会も大いに盛り上がり、夜更けまでご歓談いただきました（私は途中で寝落ちしてしまいました）。



二日目は朝から晴天に恵まれました。午前中は湿原でカヌーを楽しまれた方もおられたとか。(晴天を恨めしく思いつつ)会場では国内外の研究者が活発な講演・討議を繰り広げました。会場では、和商市場、湿原、ウイスキー、という釧路・北海道のキーワードを、心なしか耳にする一日でした。

ご参考までに。

総会開催のマニュアルを作成するという案が以前から理事会で検討されていきました。担当者の立場・職場環境によって運営の仕方はずいぶん違うので、マニュアル化は難しいと思います。しかし、次回以降、総会やシンポジウムを開催される方々のご参考になればと思い、本学会では2回の総会と1回のシンポジウムを開催させていただいた経験から、学術集会のポイントを3つ述べさせていただきます。

1. 早め早めに準備をする

会場の決定、スポンサーへの依頼、講演者への依頼、この3点は、開催が決まると同時に、即、開始した方がよいです。依頼される方の御都合もありますが、それよりも、本業に関連して突発的な用事が発生し、学術集会の準備に時間が割けないという事態がたびたび発生します。本業の忙しさに影響されて、開催のモチベーションも上がったたり下がったりです。今回は1年ほど前から準備しましたが、早すぎるくらいで結局はちょうどよい感じでした。

2. 100点満点を目指さない・本業を優先

我々はイベントのプロではありません。それでなくても多忙な研究(+教育+診療)のプロが本業の片手間に、ごく少人数ですることです。イベント会社が関わる大規模な学会と同じことはできません。優先順位をつけて、できないことはしないと、最初から開き直ると楽です。

3. 特色のある会にする

忙しい本業の傍らで、なぜ会長を引き受けるのでしょうか。それは、学術集会とはこうありたいという、自分なりの理想像があって、それを実現したいからではないでしょうか。大きな学会ではなかなか難しいかもしれませんが、小さな学会であればいろいろ試してみることが可能です。学術集会の開催は、プログラム内容、開催地、懇親会、など、自分が理想とする研究社会を小スケールで具現化するよい機会です。その意味において、学術集会の開催は労力に見合った活動になると思います。

最後に。

会場の準備や当日の設営にあたりましては、釧路観光コンベンション協会の福田充宏さまにご協力いただきました。そして、私の研究室のスタッフの塩澤久美子さん、喬志偉君に総会当日ならびに前後、お手伝いいただきました。また、終日の照明係を、北里大学(佐藤雄一先生)の朽津有紀さんと井上航君にお願いしました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

いつかまたどこかで学術集会を開催させていただく機会があるかと思えます。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

皆様方のより一層の御活躍をお祈り申し上げます。

以上

《集合写真・スナップ写真》

総会での集合写真とスナップ写真を学会ホームページに掲載しました。ご高覧ください。本学会会員および総会参加者限定の公開となっておりますので、アクセスに必要なIDおよびパスワードは後ほどご連絡いたします。

学会のホームページ『近年開催された日本電気泳動総会の記録』

<http://www.jes1950.jp/soukai-kiroku.html>

## 有機化合物の受託研究・受託合成で研究開発をサポートいたします

欲しい化合物があるけれど手に入らない・・・  
アイデアはあるけれど合成は難しそう・・・  
網羅的に調べたい、スクリーニングの範囲を広げたい・・・  
大量合成や原料合成は面倒・・・  
マンパワーや設備が足りない・・・

あきらめる前に**ナード研究所**にご相談ください

**NARD** institute, ltd.

株式会社ナード研究所 [ISO14001認証取得]  
神戸研究所 神戸市中央区港島南町5丁目4-1 TEL:078-958-7013 FAX:078-958-8016  
ホームページからお問い合わせください <http://www.nard.co.jp>

### 日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋（株）	癸巳化成（株）	コスモ・バイオ（株）
（株）島津製作所	シャープ（株）	ナカライテスク（株）
（株）ナード研究所	日本エイドー（株）	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)
（株）ヘレナ研究所	和光純薬工業（株）	(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局（[secretariat@jes1950.jp](mailto:secretariat@jes1950.jp)）宛にお願いいたします。